

INACHO ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
会長：井上 修 副会長：鈴木一比古 幹事：加藤 篤 公共イメージ向上委員長：瀧谷恵二

**UNITE
FOR
GOOD**

よいことの
ために
手を取りあおう

2025-2026年度 RI会長メッセージ

よいことのために手を取りあおう

2025-2026 RI会長
フランチェスコ・
アレツォ
<イタリア>



第1744回 第39年度初例会 令和7年7月8日(火)

■ 点 鐘

12:30

■ ソング

君が代・奉仕の理想・四つのテスト

唐澤千明ソングリーダー



■ ゲスト・ビジター紹介

・衛星クラブ 清水吉治会員

■ 新任式

- ・直前会長・幹事から新会長・幹事への襟章引継ぎ
- ・直前会長・幹事への退任記念品贈呈
- ・新役員・理事・委員長の紹介



■ 会長談話

井上修会長



一年間、会長を務めさせて頂きます井上でございます。宜しくお願ひ申し上げます。
前・熊谷会長の指示により、兼子展世会員、倉田秀伸会員をお尋ねして参りました。
兼子会員はすこぶるお元気で施設にはおられますが、自由時間の多い日々を過ごしておられます。奥様がお相手頂き「ロータリそろそろお辞めになったらと言いますとね」・「まだまだだ！」と譲らないんですよと笑いながら話して頂きました。

倉田会員は直接お会いして信大留学生の支援は倉田会員が国際奉仕委員の時に始めた事や、ご祖父が南箕輪村 18 代の村長で、信州大学の農学部を倉田家の土地に誘致されたこと等お聞きしました。



兼子夫妻 奥様



倉田村長 倉田氏



■ 慶 祝

7月誕生祝い

・平澤照雄会員 ・矢島宏会員 ・小椋文成会員



■ ニコニコボックス

- ◆井上修 39年度始まりました。加藤幹事、橋爪 SAA と共に一生懸命務めます。宜しくお願い致します。
- ◆加藤篤 一年間幹事を務めさせていただきます加藤です。よろしくお願い致します。
- ◆橋爪麻人 前年とは打って変わって地味なSAAにゆっくり慣れてください。
- ◆田中洋 井上会長、加藤幹事、橋爪SAA 皆様新年度ご就任おめでとうございます。一年間大変ご
- ◆池田幸平 井上、加藤年度の船出をお祝い致します。
- ◆池上幸平 加藤幹事、橋爪SAA、役員、理事の皆様、又事務局の武井さん39期が始まります。井上会長を一年間支えて下さいます様、大変な一年間皆様頑張って下さい。

■ 幹事報告

加藤篤幹事

幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告



・6月28日（土）麻薬撲滅・ヤング街頭キャンペーンの報告 加藤篤幹事

長野県伊那保健福祉事務所主催でドンキ・ホーテ UNY 伊那店にて青少年麻薬使用を防止する目的でキャンペーンティッシュを来店客へ配布しました。

・6月29日（日）伊那市カレー大作戦の報告 加藤篤幹事

かつてない 14 名のメンバーが参加して、海老屋料理店にて実施し、多くの方に喜んで頂きました。

・7月1日（火）衛星クラブ設立準備委員会との打合せの報告 加藤篤幹事

ロータリー事務所にて衛星クラブ設立準備委員長の馬場会員を交え、クラブとの取決め事項について話し合い基本的な取決め事項を決めました。

・7月4日（金）衛星クラブ例会へ出席の報告 加藤篤幹事

7月4日（金）に新鮮飯店で行われた衛星クラブ設立説明例会に、熊谷直前会長・井上会長・橋爪 SAA・三澤俊明委員長と幹事加藤が参加しました。総勢 11 名の例会となりました。



7月16日（水）丸紅（株）職場訪問・東京 RC 例会訪問の案内 加藤篤幹事

7月16日（水）に実施する東京ロータリークラブ訪問例会について、本日参加される会員に乗車場所と時間の案内を配布してあります。お間違えが無いようにお願いします。当日は10時30分に旧会員の小川貴子さんの案内で丸紅株式会社を訪問します。時価55億円と言われている丸紅所有の「ポッティチェリ」の名画は見られないようですが、高層階から皇居が一望できます。

12時30分からは東京ロータリークラブの例会に出席します。会場は帝国ホテルで中二階の「光の間」です。東京ロータリーのメンバーの皆さんとテーブルと一緒に日本最古のロータリークラブ会員との知己を深めてください。服装はクールビズ期間中でネクタイは不要ですがジャケットは必ず着用してください。

・7月1日（火）公共イメージ向上委員会の報告 澁谷恵二公共イメージ向上委員長

18:30 桜や



参加者

井上会長、加藤幹事、橋爪 SAA, 矢島副委員長、熊谷会員、小椋会員、肥沼会員
平澤会員、澁谷
マスコミ関係者

伊那ケーブルテレビジョン株式会社 平山様

長野日報社

唐澤様

いなあいネット

加藤様

7月1日に公共イメージ向上委員会を開催しました。

今回の目的は公共イメージ向上の為に情報発信のプロであるマスコミの方との交流により、伊那中央ロータリーの活動の情報発信の強化にありました。

委員会は井上会長からパワーポイントを使った活動方針から始まり有意義な意見交換の場になりました。今後もこの様な場を設け、意見交換を進めていくことで公共イメージ向上に繋げていきたいと考えています。

・会報原稿 BOX についての説明 小椋文成公共イメージ向上委員



会報の作業を会員で行うために作業手順・ルールを変更します。

資料を配布しますので内容を確認をお願いします。

不明な点などありましたら、公共イメージ向上委員会までお聞きください。

最初のうちは皆混乱すると思いますが、ゆっくりと確実にできるように進めていきましょう。

ご協力をお願いします。



今年1年間「ロータリーの友」紹介を担当するロータリー情報委員長の唐澤です。よろしくお願いいたします。

6ページには今年度(2025～26年度)の全地区(34地区)ガバナーの横顔が掲載されています。15ページに当地区ガバナー小林磨史(こばやしまふみ)氏(松本南RC)が紹介されています。

28ページからは、7月の特集である「母子の健康」をテーマとして様々な取り組みを紹介しています。世界には、月経を理由に教育や仕事の機会を奪われている女性がいいます。「月経のタブーを超えて」―女性の健康と尊厳を守るために―と、30ページにはインドのロータスバレー・インターナショナルスクール・インターアクトクラブでは生理用ナプキンを作って、地元の村にある児童養護施設、学校、コミュニティーヘルスセンターなどに配布しています。2018年にプロジェクトが始まって以来、約3万枚作っており、「この問題を話題にするだけで、女性の命を救うことができるんです」と述べています。

32ページには平塚湘南RCと平塚北RCが、タンザニアで貧困に苦しむ女性たちのために生理用品工場を設立し、ナプキンを無料配布、雇用を創出する日本人女性の活動を支援しています。タンザニアの少女たちに教育や雇用の循環を生み、地域社会に希望をもたらすとしています。

33ページには「パッドマン 5億人の女性を救った男」という映画で、インドの男性が月経衛生の課題に立ち向かい、生理用ナプキンを広めた実話を描いた作品です。この作品は奉仕とは何か、人としてどう成長できるかを問いかけ、「母子の健康」月間にふさわしい作品として、多くの方に見て頂きたいと願っています。

縦組み4ページには、ヤングケアラーを知ろう～こどもが頼れる地域社会づくりをと、NPO法人虹色のかき理事長の高橋智之氏が講演しています。2024年(昨年)6月に「子ども・若者育成支援推進法」の一部改正があり、ヤングケアラーとは「家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者」と明示されました。今までは18歳以上で、同じような立場の人を「若者ケアラー」と言っていたのですが、定義ができたことで「若者ケアラー」と呼ばれていた人も「ヤングケアラー」という言葉に含めることになりました。ヤングケアラーというと若い世代のこととイメージしてしまおうと思いますが、30歳未満の人を中心として施策内容により、概ね40歳未満の人たちも対象になります。

ヤングケアラーの例としては、家事や兄弟姉妹の世話、あとは障害のある家族や、外国籍の子であれば、日本語が第1言語ではない家族の通訳をしている、という状況です。

少し前ですけど令和2年度に厚生労働省が、どのくらいヤングケアラーがいるのか、という調査結果を公表しました。世話をしている家族いる、と答えた中学生が17人に1人、高校生で24人に1人。クラスに1人～2人はいる、ということになりますが、これは答えてくれた人の数です。また、世話をしていると答えた人にその頻度を聞くと、半数近くがほぼ毎日と答えています。さらに1日のケアに費やす時間は、中学2年生で平均4時間、全日制の高校2年生も平均3,8時間で同じくらいです。中には、1日7時間ぐらいという回答もありました。

世間で見過ごされやすいヤングケアラーですが、そもそもヤングケアラーの支援はどこがするのかといえば、法律上18歳未満の場合は行政が担当します。しかし18歳未満の子どもが、自分から行政機関を訪ねて相談することが、どれほど難しいかを考えてみて下さい。例えば兄弟に障害があつて、それを隠したいな、恥ずかしいなっていう気持ちが出てきたりします。こうした気持ちは、小学生よりも中学生、高校生と年齢が上がるにつれ、周囲との違いを認識するようになり、より言い出せなくなる傾向があります。だからこそ、周囲の大人が関わっていく必要があります。

ヤングケアラーというのは、月に2～3回、親がいないときに手伝うという状況ではなくて、年齢や成長に見合わない想い責任や負担を負っていること。そして、その実態は気付かれにくく、孤独化を生み出していることを覚えておいてください。それと、支援は成人になれば終わるというものではない、ということです。

頼れる地域となるため私たちができることとして、全ての人に担っていただきたいのは、ヤングケアラーに気付く役割です。違和感に気付くこと、これが第一歩です。違和感に気付いたら、勇気をだして、声をかけてください。そうして、繰り返し声をかけることで、本当につらくなった時に「もう私ダメなんです」って言ってくれる可能性も出てきます。そうなるまで種まきを続けないと、本当の気持ちが出てこないかもしれない。この人なら頼ってもいいと思ってくれるまで関係を築く、というのがヤングケアラーに関わる際に必要なことです。

たとえ解決できずとも寄り添うことの大切さが必要と。皆さんが「この子ヤングケアラーかも」と思った

時点で、行政なり、民間の支援機関なりに、相談をしてもらうのが一番いいと思います。

高橋知之氏は、2023 年 3 月に理事長に就任後、群馬県よりヤングケアラー支援コーディネーター事業を受託しています。

縦組み 9 ページには、「和服姿の精神科医が説く自然と人間のつながり、森の願い」として、伊良波範子(い らなみのりこ)さんを紹介しています。38 歳で医師国家試験に合格し、メンタルクリニックを開業して 10 年。過去から現在に至るまで和服姿で持ち前の行動力を発揮し、活動しています。

以上 7 月号の紹介です。

■ 出席報告

会員数39名 出席免除会員4名 長欠会員1名 本日出席者（例会場）24名（ZOOM）1名
事前メイク0名 出席率73.53% 前回出席率 修正なし

■ 委員会事業計画の発表

時間の都合により、次回の例会で行います。

■ 点 鐘

13：30

次回例会

7 月 16 日（水） 丸紅（株）への職場訪問・東京 RC への例会訪問

7 月 22 日（火） 点鐘／12:30 場所／海老屋料理店

- ・伊那 RC 会長・幹事さんご来訪予定
- ・委員会事業計画発表
- ・例会後：理事会